

指定管理者制度導入施設 モニタリングチェックシート

(平成26年度 上半期(4月～9月) の管理運営状況)
年間(4月～3月)

施設名	秋川溪谷瀬音の湯	指定管理者	新四季創造株式会社
指定期間	平成24年4月1日から 平成27年3月31日まで	担当課	観光まちづくり活動課

1 業務の遂行状況及び収支の状況

項目	分類	年間計画 (A)	実績 (B) (モニタリング時)	対計画比率 (B/A×100)	
業務の 遂行状況	開館日数 (日)	361	181	50.1%	
	延べ利用者数 (人)	484,600	258,296	53.3%	
収支状況	収入	指定管理料 (円)	—	—%	
		利用料金収入 (円)	369,253,500	194,884,895	52.8%
		自主事業収入 (円)	—	—	—%
		その他の収入 (円) (受託収益、雑収入)	17,324,400	8,623,334	49.8%
	収入計 (円)		386,577,900	203,508,229	52.6%
	支出	人件費 (円)	155,000,000	73,650,858	47.5%
		維持管理経費 (円)	125,596,400	59,979,873	47.8%
		自主事業関係経費 (円)	—	—	—%
		その他の支出 (円)	111,981,500	59,550,486	53.2%
	支出計 (円)		392,577,900	193,181,217	49.2%
収支 (収入－支出) (円)		-6,000,000	10,327,012		

指定管理者の自己評価 (改善点、その他特記事項)

【開館日数・利用者数について】	【事業の実施状況について】	【収支状況について】
開館日数：181日※休館日：2日 利用者数：258,296人 (前年度上半期比587人増)	集客の面では、タイアップの強化を、収支の面では、直売所の売上増進に努めた。	経常利益は、前年対比では減少したが、上半期は、10,327千円の黒字で推移している。

所管課の評価 (指摘事項)

開館日数が前年度の上半期と同じ181日であったが、利用者数が587人増加しており、評価できる。	企業とのタイアップ強化及び営業活動による誘客並びに直売所における陳列・宣伝方法の改善による増収を図っており、評価できる。	消費税率が引き上げられたが、入浴・宿泊料金を据え置いたこともあり、経常利益は前年度の上半期比では減少したものの、黒字経営を達成しており、評価できる。
-------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------

2 チェック項目

評価項目・評価事項 (数値目標)	確認資料等	指定管理者の 自己評価	所管課の評価
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている	日報	適正・要改善
	使用料、利用料金の徴収、減免を適切に行っている	日報、申請書	適正・要改善
施設・設備の 維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている	各種点検結果報告書	適正・要改善
	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている	日報、実地	適正・要改善
	備品等を適切に保管・管理している	備品台帳	適正・要改善
	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負わせていない	実地	適正・要改善

安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適切であり、市への通報体制が整っている	危機管理マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の警備業務など利用者への安全対策が講じられている	実地	適正・要改善	適正・要改善
	損害保険等の必要な保険に加入している	保険証書	適正・要改善	適正・要改善
透明性・公平性	ホームページ等により施設の情報の公開に努めている	ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
	情報公開に対する体制を整備している	情報公開マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	利用者の平等な利用が確保されている	日報	適正・要改善	適正・要改善
効果的・効率的な運営	苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を管理運営に反映している	利用者アンケート	適正・要改善	適正・要改善
	施設の利用者拡大の取組を行っている	日報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	経費削減のための取組を行っている	日報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	広報紙、チラシ、ホームページなどにより積極的に事業等を周知している	広報紙、チラシ、ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
人員配置・人材育成等	事業計画書どおりの人員を配置している	85人 人員配置計画	85人 適正・要改善	適正・要改善
	事業計画書どおりの職員の指導育成や研修を行っている	2回/年 研修マニュアル	実施回数 2回 適正・要改善	適正・要改善
	障がい者や高齢者の雇用促進に努めている	30% 人員配置計画	35% 適正・要改善	適正・要改善
	労働法令の遵守や労働条件への適切な配慮がなされている	就業規則	適正・要改善	適正・要改善
個人情報の保護	個人情報を保護するための取組を行っている	個人情報保護マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	文書管理を適切に行っている	保存文書	適正・要改善	適正・要改善
環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ゴミの減量など、環境への配慮に取り組んでいる	日報	適正・要改善	適正・要改善

※評価基準

「適正」：その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」：その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

3 上記1、2の評価に関する所見

指定管理者による所見（改善点、その他特記事項）
<p>消費税率が引き上げられたが、利用者に対し、増税の影響を最小限に抑えるため、入浴・宿泊の料金を据え置いた。利用者の増加及び増収の取り組みとして、企業とのタイアップ強化及び営業活動による誘客並びに直売所の陳列・販売方法の改善を行い、天候不順に見舞われるも、利用者数が前年度の上半期を上回り、黒字経営を達成した。また、人員配置については、適正な人員を確保し、より良質なサービスの提供に努めた。今後も市及び地域と連携し、積極的に誘客・増収を図り、地域活性化の取り組みを行う。</p>
市による所見（指摘事項など）
<p>利用者に配慮し、消費税率の引き上げにも関わらず入浴・宿泊の料金を据え置いたが、積極的な誘客策及び増収策に取り組み、利用者数及び収入を増加させ、また、適正な人員の確保による良質なサービスの提供に努めた。今後も本市を代表する観光拠点として市及び地域と連携し、積極的に誘客・増収を図り、地域の活性化に取り組む必要がある。</p>